



2022年6月20日

各位

会社名 ラクスル株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 松本 恭攝  
(コード：4384、東証プライム市場)  
問合せ先 取締役 CFO 永見 世央  
(TEL. 03-6629-4893)

### 2022年7月期第3四半期決算説明会後の質疑応答内容について

2022年6月10日に開催いたしました機関投資家・アナリスト向け2022年7月期第3四半期決算説明会後、投資家の皆様より多く寄せられた質問とそれに対する当社の回答を、下記の通り開示いたします。

事業	質問	回答
全社	来期(2023年7月期)の連結業績の見通しは	売上総利益については、下記のハコベル事業の影響により前年比成長率が30%を下回る可能性があるものの、成長は継続する。 また、EBITDA(non-gaap)については、同50%超の成長となる見込み。 ハコベル事業は期初から持分法適用会社となり、売上高、売上総利益、営業損失からは除かれ、持分法投資損益で数億円前半の損失が出る見込み
全社	今期(2022年7月期)第4四半期(3か月)は、各段階利益は黒字か	黒字の見込み
全社	自己株買いの検討をしているとの言及があるが、成長に対して消極的なのか	事業への継続的な再投資が最重要であり、成長を重視している考えは変わらない。一方で、2022年7月期第3四半期決算説明会資料p.39のQuality Growthの考えに沿って今後は収益性と資本効率性をより重視する中、事業への投資を行った上で蓄積する現預金と利益剰余金の一部を、自己株買いに充当する可能性はある
印刷	ダンボールワン社を除くラクスルセグメントの第4四半期の前年同期比成長率は、第3四半期の同成長率より改善するか	第4四半期売上高の前年同期比成長率は20%超で着地する見込み。5月単月も20%超で着地
テレビCM	直近の需要回復状況は	3-5月にかけて外部環境変化の影響を受けていたが、顧客構成をシフトしたことにより、6月以降回復し始めている状況

以上